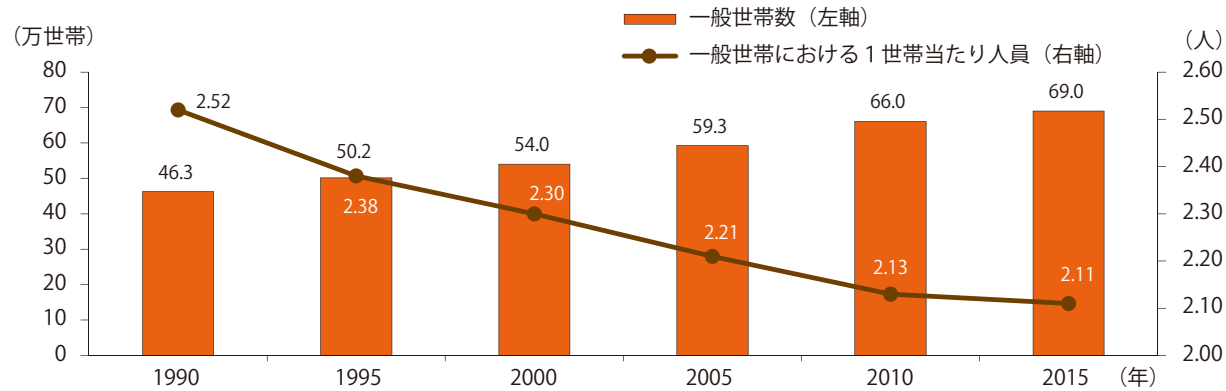


かわさきの世帯

「世帯」とは、国勢調査では、一般の家庭のように、住居と生計を共にしている人びとの集まりのことを指します。ここでは、「人口」に続き、かわさきで暮らす人びとを「世帯」という観点から見てみましょう。

世帯数(全市)

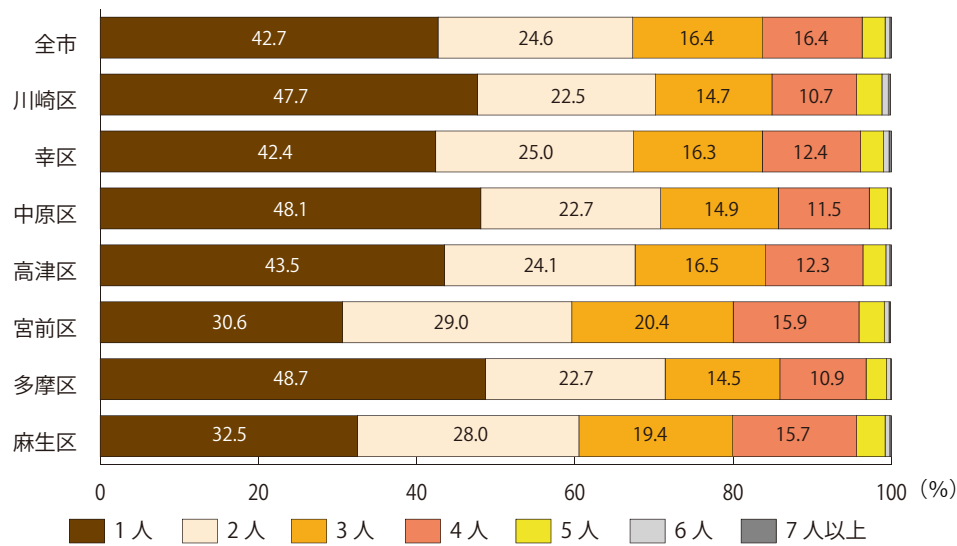
一般世帯数と世帯当たりの平均人員数の推移 (1990～2015年)



世帯数は増え、世帯規模は小さくなりました。

出典：川崎市「川崎市の人口(1)ー平成27年国勢調査ー」報告書

一般世帯の人員割合(区別)



出典：川崎市「川崎市の人口(1)ー平成27年国勢調査ー」報告書

区別に見ると、宮前区と麻生区は他区より2人以上の世帯割合が高めです。中原区と多摩区は平均人員数が2.00を下回っています。

参考文献等

注：国勢調査では、「世帯数」とは「一般世帯」と「施設等の世帯」の大きく2つに分けていますが、ここで言う「世帯数」とは「一般世帯」のことを指します。

平成27年国勢調査人口等基本集計結果 結果の概要

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka/kihon1/pdf/gaiyou1.pdf> (2019.4.23 取得)

川崎市の世帯数・人口(平成31年4月1日現在)

<http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000105864.html> (2019.4.23 取得)

川崎市の世帯数・人口(平成11年4月1日現在)

<http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000015093.html> (2019.4.23 取得)

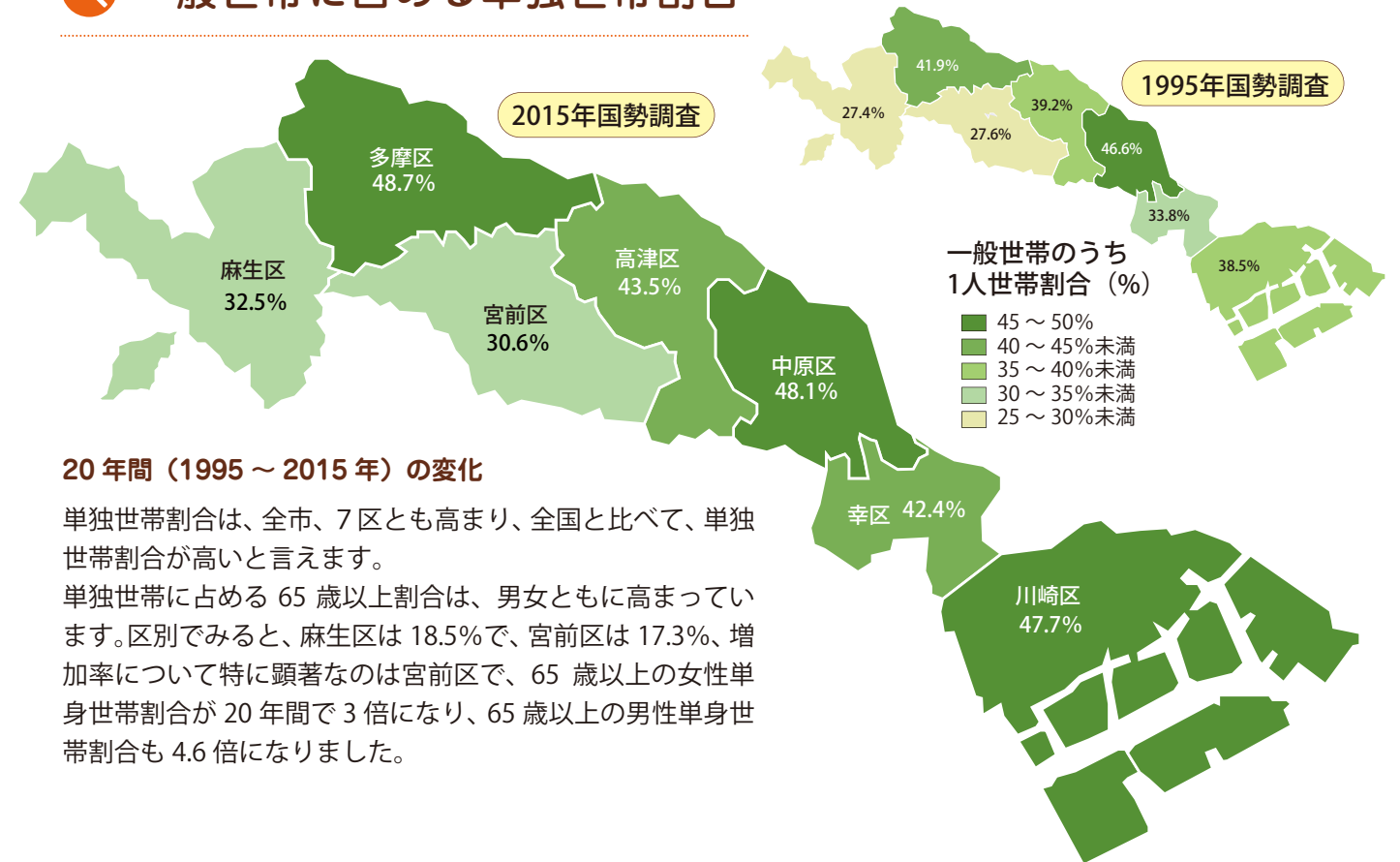
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数のポイント(平成30年1月1日現在)」

http://www.soumu.go.jp/main_content/000495315.pdf (2019.4.23 取得)

総務省「2005国勢調査 用語の解説(第1次基本集計)」

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/kihon1/yougo.html> (2019.4.23 取得)

一般世帯に占める単独世帯割合

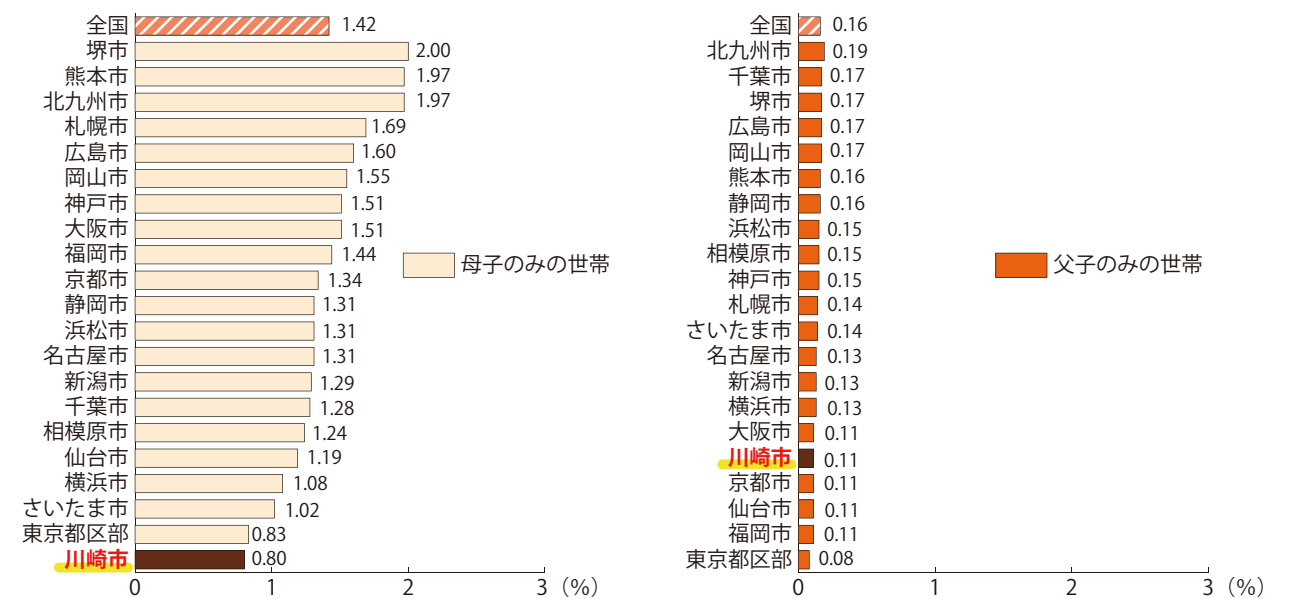


20年間(1995～2015年)の変化

単独世帯割合は、全市、7区とも高まり、全国と比べて、単独世帯割合が高いと言えます。

単独世帯に占める65歳以上割合は、男女ともに高まっています。区別で見ると、麻生区は18.5%で、宮前区は17.3%、増加率について特に顕著なのは宮前区で、65歳以上の女性単身世帯割合が20年間で3倍になり、65歳以上の男性単身世帯割合も4.6倍になりました。

母子／父子世帯割合(全国、政令指定都市比較)



出典：総務省統計局「平成27年国勢調査」を元に作成

母子のみ世帯と父子のみ世帯が全世帯に対してどのくらいあるかを見たグラフです。

母子のみ世帯では、堺市、熊本市、北九州市が上位3位ですが、川崎市は0.80%と非常に少ないと言えます。

父子のみ世帯では、全国平均(0.16%)と比較して、北九州市、千葉市、堺市が上位3位ですが、川崎市は0.11%と非常に少ないと言えます。